




経尿道的膀胱腫瘍切除術を受ける方へ

患者氏名 _____ 様

病状説明：膀胱腫瘍（膀胱癌）を認めます。血尿や膀胱炎の原因と考えられます。尿道から内視鏡を入れ、腫瘍を切除します。入院期間は約1週間です。		退院基準：血尿がスケール2以下である。排尿困難がない。麻酔の影響（頭痛や嘔気）がない。					
	入院当日(/)	[前] 手術当日(/)	[後]	術後1日目(/)	術後2日目(/)	術後3日目～5日目	術後6日目～退院
検査治療処置	<input type="checkbox"/> 午前中の手術の場合は、点滴用の管を夕方に入れます	<input type="checkbox"/> 午後手術の場合は、10時頃に左手に点滴用の管を入れます。	●体温・脈拍・血圧を手術直後から、定期的に測ります。 ●腰椎麻酔が醒めてきているか確認します ●尿の性状を確認します。	●体温・脈拍・血圧を適宜測定します。			→
薬剤	●下剤2錠を21時に内服してください。	<input type="checkbox"/> 午前手術の場合は午前7時頃から点滴が始まります。 <input type="checkbox"/> 午後手術の場合は午前10時頃から点滴が始まります。		●点滴終了後、点滴の管を抜きます。			
安静度リハビリテーション		●手術着に着替えた後看護師と歩いて手術室へ行きます。	●術後6時間は、ベッド上安静です 6時間後以降はベッド周囲のみ動くことができます。	●手術着からパジャマに着替えご自由に動くことができます。			
排泄			●尿の管が入ります。 ●術後6時間まではベッド上排泄です。		→	●尿道の管を抜きます。 (主治医の判断で前後します)	
清潔		●朝、洗面・歯磨きをして下さい。 ●油分の多いクリームをつけたり、マニキュアや化粧は止めて下さい。 ●時計・指輪等のアクセサリー、入歯、かつら等外せるものは外して下さい。			●シャワー浴できます。 		●退院療養計画書をお渡します。 ●退院後の生活についての説明があります。
食事栄養管理	●食事は、夕食まで食べられます。 ＜手術の必要物品＞ コップ 曲がるストロー	●食事を摂ることはできません。 ●お茶・水のみ()時まで摂ることができます。 それ以降は摂ることはできません。	●帰室後、全身状態が落ち着いていれば、2時間後より水分・食事を摂ることができます。 ※食事の時のみ頭を少し上げて食べることができます。				●必要時、薬剤師より薬の説明があります。
説明指導教育	●看護師が手術前後の経過について説明します。 ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師の訪問があります。	●手術室に行く前に排尿を済ませて下さい。 手術室に入室する時刻は時分予定になっています。 ※朝一の手術でない場合時間は前後します。	●麻酔の影響で吐気・頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。水分を多めに摂るようにしましょう。 			●尿道の管が抜けた後、しばらくは血尿や排尿時痛などがあります。水分を十分とりましょう。 	

※この用紙に記載された内容は予定であり病状に応じて内容・入院日数の変更はありますが、日々説明を行っていきます。ご不明な点はお気軽にお伝え下さい。